

2009年
迎春

障害者自立支援法の「応益負担」 「後期高齢者医療制度」の廃止を!!!

心のひろば

発行 平成20年1月1日
〒208 岡山県倉敷市四ツ七二
林友の会
電話 086-271-8111(2)
FAX 086-271-9104
発行責任者 石田正也
紙代 1部50円(郵送料15円)

New Year
2009
謹賀新年



▲「応益負担の廃止をなんとか決意に燃える参加者たち(10.31/大カーブライズ:日比谷)」



林精神医学研究所
理事長 林英樹

新年、明けましておめでとうございます。
本年も患者さんやご家族の安心の拠り所となるように明るく元気に働きたいと思っております。
昨年は都心で救急医療の崩壊による悲しいニュースが続きました。長年にわたる社会保障費削減による医師、看護師介護職員不足から、私たちの身近でも患者さんまさんでした。



林友の会
会長 石田正也

新年あけましておめでとうございます。昨年は福田首相の突然の退任後、麻生首相が誕生しましたが、就任早々から迷走ははじめました。世界的な経済危機の中、日本政府がどうするか見えてこないのは困ったことです。
盗端は、金融バブルの崩壊であり、これが地道な経済に影響を及ぼしているのです。

やご家族の要望に応えられない事態が生じています。林財団においても同様で、医師不足による診療体制の変更に

「医療・福祉の充実を」 皆様と共に

などで利用者の方に大変な迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。

響を及ぼしているのです。基本的に資本主義の計画なき経済社会が生み出したものといえると思います。

「弱者切り捨て」を 許さない運動に 全力です!!!

けの闘いで自立支援法が少しでも見直されているように高齢者を差別する後期高齢者医療制度も多くの国民の連帯によって廃止に向けて運動が広がっています。私たち職員も「医師看護師を増やし、介護職員の報酬改善を求め」て運動を展開してまいります。皆さんの協力のおかげで国民の世論となり、政府も見直しを検討せざるをえない状況となってきました。今年はこの流れを確かなものにし、安心して暮らせる社会の実現に向けて本年も共に頑張ります。



られています。不況だからこそ、国民生活を安定させる政策が求められています。憲法が定める個人の尊厳や健康で文化的な生活をする権利が、いまこそ、暮らして活かされるべきなのです。

今年、社会福祉政策の後退を許さない運動が、一層重要になります。とりわけ、懸案の自立支援法の改正の実現、生活保護削減への反対運動、派遣労働「キンプラグ」のような弱者の切り捨てへの監視の強化が必要であると思います。

友の会は会員の皆様の声を十分聞きながら、今年も頑張りたいと思います。